

平成16年度第6回理事会

日 時 平成16年9月17日（金）13：30～

場 所 特別会議室

議 題

- 1 平成15年度の業績の実績に関する評価結果について
- 2 平成16年度研究職員選考採用の内定について
- 3 その他

資 料

- 1 独立行政法人森林総合研究所の平成15年度の業績の実績に関する評価結果（抜粋）
- 2 平成16年度研究職員選考採用の内定について

独立行政法人森林総合研究所の 平成15年度の業務の実績に関する評価結果

独立行政法人評価委員会林野分科会

独立行政法人森林総合研究所の平成15事業年度の評価結果について

1 総合評価の評定

(A)： 中期計画に対して概ね順調に推移している。

独立行政法人評価委員会林野分科会（以下「分科会」という。）が、独立行政法人森林総合研究所（以下「研究所」という。）の平成15年度の業務の実績について、「独立行政法人林木育種センター及び独立行政法人森林総合研究所の業務の実績に関する評価基準」により、中期目標及び同目標に基づき作成された中期計画の達成度合いを客観的に判断するため評価単位を設定し、取り組むべき課題の達成状況を評価し、その結果を基本として総合評価を行ったところ、中期計画に対して概ね順調に推移していると判断されたことから、上記の評価結果（A）とした。

なお、評価は、設定した評価単位ごとに、研究所が行った自己評価結果の提出・説明を受け、当該資料の調査・分析を基本として行った。

2 大項目の評定

「業務運営の効率化に関する目標を達成するためとるべき措置」、「国民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置」、「予算（人件費の見積りを含む。）、収支計画及び資金計画」、「その他主務省令で定める業務運営に関する事項」の各項目について、何れも中期計画に対して概ね順調に推移していると判断されたことから（A）と評価した。

3 業務運営に対する総括的な意見

研究所の業務運営の改善に資するため、分科会は以下のような意見を述べた。

- (1) 業務内容が多岐にわたることから、多数の研究テーマが設定されている中で、個別の研究、調査の評価は行われている。
- (2) 目標の明確化、総合的な成果の取りまとめやインプット、アウトプット、アウトカムの明確化、リンクを行うためにも、一層の業務プロセス分析や

見直し、継続的な改善努力を求める。

- (3) 業績評価は、研究所自らが国民に対する説明責任を全うする重要な機会であることに鑑み、評価委員会に提出する資料の作成に当たっては、引き続き研究所としての考え方や過程が容易に読み取れる形で掲載されることを期待する。また、広報の機会を捉えて、国民にわかりやすく研究の成果等を伝える工夫をされたい。
- (4) 組織としてのダイナミックさが感じられる一年であったが、引き続き社会や現場のニーズを的確に捉えるよう惜しみない努力を注ぎ、国内の森林管理を支える研究機関としての立場をより一層明確にして研究活動に取り組むことを期待する。

平成15年度 総合評価

評価単位	評価単位
a	業務の効率化
a	競争的研究環境の整備
a	施設、機械の効率的活用
a	研究の連携・協力
a	研究支援業務の効率化及び強化
a	事務の効率的処理
a	森林における生物多様性の保全に関する研究
a	森林の国土保全、水資源かん養、生活環境保全機能の高度発揮に関する研究
a	森林に対する生物被害、気象災害等の回避・防除技術に関する研究
b	多様な公益的機能の総合発揮に関する研究
a	地球環境変動下における森林の保全・再生に関する研究
a	効率的生産システムの構築に関する研究
b	森林の新たな利用を推進し山村振興に資する研究
a	木質資源の環境調和・循環利用技術の開発に関する研究
a	安全・快適性を目指した木質材料の加工・利用技術の開発に関する研究
a	生物機能の解明と新素材の開発に向けた研究
a	森林・林業・木材産業政策の企画立案に資する研究
a	きのこ類等遺伝子資源の収集、保存
a	分析、鑑定
a	講習
a	標本の生産及び配布
b	行政、学会等への協力及び国際協力
a	成果の公表、普及、利活用の促進
a	経費節減
a	外部資金獲得
a	資金配分
a	剰余金の使途
a	施設及び設備に関する計画
a	職員の人事に関する計画（人員及び人件費の効率化に関する目標を含む）
	（項目 29）
達成割合	

理 事 会 資 料
平成 1 6 年 9 月 1 7 日
総 務 課

平成 1 6 年度研究職員選考採用の内定について

第 4 回理事会で研究職員の選考採用の公募について承認を頂いていましたが、全体で 4 3 名の応募があり、選考の結果、下記の者について平成 1 6 年 1 0 月 1 日付けの採用を内定したので報告します。

記

水土保持研究領域	治山研究室	岡田康彦
森林微生物研究領域	森林病理研究室	横井寿郎
森林昆虫研究領域	昆虫生態研究室	杉浦真治
森林昆虫研究領域	昆虫管理研究室	高務 淳
森林昆虫研究領域	昆虫管理研究室	高梨琢磨
成分利用研究領域	木材化学研究室	久保智史
複合材料研究領域	積層接着研究室	新藤健太
木材特性研究領域	組織材質研究室	黒田克史
構造利用研究領域	木質構造居住環境研究室	青木謙治